

活動報告レポート	ASKUL Kodomo Art Project
報告日	2016年1月19日
報告者	特定非営利活動法人 子供地球基金

■被災地の現状

子供地球基金では、キッズアースホーム東北を基点に絵を描くワークショップを行いました。6月は「ありがとう」というテーマを設けて絵を描きました。ユニークで温かい作品が沢山生まれました。家族3人で仲良く寝ている絵を描いたり、お母さんの作る美味しい料理を画用紙いっぱい描いたり、子どもたちが感謝の気持ちを素直に表現していました。

毎年、地域の方々が主催しているお祭りに運営や、来場者が1万人を超え、地元の方だけでは運営が難しい状況にありました。東京でボランティアを募り、各地で手を挙げてくださった方が交通費を自分たちで払い、地元の方と一緒に汗を流し、子どもたちの笑顔の為にお祭りの運営をすることは、参加してくださったボランティアの方々にも、そして地元の方々にも実りのある活動となりました。

「ツール・ド・東北 2015」ではアスクル・ロハコのブース内で絵を描くワークショップを行いました。前回のワークショップに参加してくれた子どもたちの中には、自分の描いた絵がアスクルの商品のデザインに採用されている子どももいました。5年を節目に東北での行事や子どもたちが集まる場所が減っているようです。地域での催しを活気付けたいとお声がけいただき、行政や地域の団体の催し内でワークショップを開催する機会も多く頂きました。

3月で震災から5年となります。このまま忘れられてしまうのではないかと地元の方は感じ、不安な気持ちをこぼしていました。

■今後の活動

2016年も月に1回のアートワークショップを開催し、東北の子どもたちと継続して、心のケアを目的としたアートワークショップを行って参ります。特に今年は、今まで以上に、ピアノや太鼓などの音楽とかけあわせて、音を楽しんでから絵を描き自己を表現したり、立体の作品に挑戦したり、毎回ワークショップの内容に変化をつけて、子どもたちの表現活動を応援したいと思っております。

又、多くのボランティアの方を巻き込み、再度東北震災を考えるきっかけにして頂けるよう、個人や企業を巻き込み、地元の方との交流を進めたいと思います。東北の子どもたちにとっても、様々な職業や地域に住む方々と会う機会を多く持つことで、幅広い人生観や考え方に触れ合うきっかけとなっています。

今後も、キッズアースホーム東北での活動を続けながら、地域と行政などの催しに積極的に参加し、子どもたちと一緒に明るい未来を描いていきたいと思っております。

■2015年6月以降のアートワークショップの開催

2015年6月6日キッズアースホーム東北



2015年7月20日蛍飛び交う夏祭り



2015年8月29日キッズアースホーム東北



2015年9月13日ツール・ド・東北2015 (アスクル、ロハコブース内にて)



2015年10月24日逢隈児童館（宮城県亶理郡）



2015年11月14日キッズアースホーム東北



2015年12月18日キッズアースホーム東北



■支援金の使途

キッズアースホーム 12 号東北（宮城県亶理郡亶理町）をはじめ、東北で行われるワークショップの画材購入などに役立てられました。

ネオクロス(キャンバス 12m)	¥12,181/1 本×5 本
色鉛筆	¥2,980/1 セット×100 セット
イベントカラー	¥1,050/1 セット×300 セット
白画用紙	¥30/1 枚×300 枚
色画用紙	¥55/1 枚×300 枚
紙コップ(絵の具用)	¥298×30 セット
大きな画用紙	¥105/枚×300 枚
ポスターカラー(中字)	¥210/1 本×300 本
ポスターカラー(太字)	¥262/1 本×300 本
ポスターカラー(極太字)	¥525/1 本×300 本
筆	¥204×300 本+¥343×300 本+¥735×300 本
のり	¥81×100
はさみ	¥370×50
ポスター	¥25×500 枚
ウェットティッシュ	¥425/1 パック×100 パック
交通費(ガソリン代、高速代)	¥178,544
復興ロボット工作材料費	¥32,100
ワークショップ施設補修	¥41,000
子どもたちの飲み物やおやつなど	
その他	